

信仰者の三大試練

肉体から離れた霊界までも現実なのです。それを考えなければなりません。また霊人体の成長は神のみ言、愛なくしてはなされません。み言通りに実践して感じなければなりません。私たちの本質は見えないもの、霊人体なのです。

第一試練についてですが、私たちは現実的な衣食住の問題が信仰よりも氏族的メシヤの使命よりもはるかに優先すべきことであると考えてしまいます。現実的に困っている問題を優先してしまうのです。

さらに第二試練は、信仰者の本分と使命を脱ぎ捨てたまま、神様が本当に祝福してくれるのか試したらどうなのかと思う事です。このように試練があった時に自分中心の考えを捨てなければなりません。神様の事情、神様の立場、神様の心情から考える事ができれば、神様から捨てられた立場であったとしても乗り越える事ができます。

つぎに第三試練ですが、真の父母様と信仰を捨てて現実と結託してお金や財産と名誉を取ってしまいそうになってしまいます。

「わたしの教えを聞いて、そのとおりに忠実に実行する人はみな、堅い岩の上に家を建てる賢い人に似ています。」真の父母様の教えを聞いて救国救世に立ちあがる人、VISION2020に向けて神氏族メシヤになる人は永遠に皆さんが建てた家は崩れないでしょう。世の中の事情に流されていってしまったならば、いつか崩れていってしまうでしょう。

本日の話は、人間は肉体だけではないという事です。無形のもの腐る事もなくいつまでも永遠に生き続けるものです。

「神を第一として、神が望まれるとおりの生活をなさいます。そうすれば、必要なものは神が与えてくださいます。」反対経路ですから試練に勝ち取って勝利しなければならぬのです。反対経路ですから試練が来るのです。勝ち取って勝利者になる我々になりましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 神氏族メシヤ勝利と救国救世の基盤造成の為の40日特別伝道路程
真の父母様の御誕生日と基元節3周年の勝利圏を相続して、
天一国4年の第二次40日特別精誠期間として、神氏族メシヤ
勝利と救国救世基盤造成のために、「우리는 하나다
(ウリヌンハナダ)」の精神で、さらに全食口が真の父母様とひとつ
となって、邁進して参りましょう！
第2次:3月1日(火)～4月9日(土)までの40日
①対象者43家庭のリストアップによる神氏族メシヤ伝道の推進
②2世および青年祝福対象者1名、既成・独身祝福対象者2家庭の伝道(年間)
③天一国經典訓読の生活
④家庭集会及び地域集会・地域貢献活動の活性化
⑤世界貢献使命完遂

3. 第3地区・教区壮年部集会案内
可知講師を迎えて、救国救世講義
日時:2月28日(日)18時～
会場:大宮教会礼拝堂

4. 東埼玉教区3月度出発式
日時:3月3日(木)10:30～
場所:浦和家庭教会

5. 第26回 嫁さん弁当
とき:3月9日(水曜日)

6. 早朝訓読祈禱会
日時:3月11日(金)5:00～
場所:大宮教会
浦和教会の担当日になります。真の父母様をご持参願います。

7. 第3地区壮年研修会
日時:3月13日(日)10:30～
場所:久喜菖蒲会館アミーゴ

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう！



宗教法人 世界平和統一家庭連合
FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

(旧 世界基督教統一神霊協会)

教区長：鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com
HP: http://ucurawa.net/



日曜礼拝式次第



説教者：
司会者：
伴奏者：

開	会		
黙	禱	全体
※聖	歌 聖歌 3番	全体
※敬	拝	全体
※家庭	盟誓(日本語).....	全体
※年頭	標語	全体
	全体祈禱	全体
	聖歌	聖歌隊
	み言訓読	全体
説	教	特別1日研修	
	聖歌と献金 聖歌 23番	全体
	感謝祈禱	
	お知らせ	司会者
※祝	禱	執礼者
※全体	祈禱	全体
閉	会		

※起立して進行します

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

統一運動

祝福式に潜入取材 どんな人たちが参加しているの？
～日刊SPA!のWebサイトより抜粋～

政府が盛んに叫ぶ少子化問題には未だ実効性のある解決策がほとんど見当たらない。そんな中で出生率が第二次ベビーブーム時並みの2.1人(!)、さらに基本的には結婚率も100%(!)、しかも離婚率がこれまた驚異の1.7%だという、にわかには信じがたいコミュニティがある。それが本
当なのか嘘なのか、外部からはすぐに検証する手段はないが、3000組が一堂に会する国際合同結婚式があり、参加する新婚カップルに直接話が聞けるというので、急きよ
開催地の韓国・ソウルに飛んだ。

国際合同結婚式は2月20日、韓国・ソウルから車で2時間ほどの加平にある清心平和ワールドセンターという会場で開催された。

主催者の発表によると、会場には世界62か国から計3000組、うち日本からは778人が参加。これに加えてネットによる生中継を通して、世界で12000組が参加したという。

家庭連合の日本本部によると、これまで日本からは17万人以上がこの結婚式に参加していて、今回は統一教会が世界平和統一家庭連合という名称に変更してから初めての国際合同結婚式になるとのこと。

日本人の参加者は大きく分けて、日本人同士の初婚カップルと、彼らが既成婚と呼ぶ結婚した後に信仰を持った人たち、それと日本人と外国人のカップルという3つのグループがある。今回は、日本人同士の初婚カップルの宿舎を訪れた。一言で言うと、その雰囲気は結婚式というより入社式に近いのだ。

新入社員のような若者たちが、男女ペアになって座っている。それもそのはず、この場に集まっている参加者の平均年齢は23～24歳。学生も少なくなく、着ているスーツが見た目にしっかりきていない。その若者たちが結婚するとい
う。 →

統一運動

こうしたレクチャーを受けている様子が入社式なら、宿舎の中は、さながら修学旅行のようだ。まず、家庭連合では自由恋愛が認められていない。未婚カップルは、ほぼ例外なく見合いで出会い、結婚相手を決めて合同結婚式に臨む。

しかし、その時はまだ性的関係を結ばない。結婚式の後、少なくとも40日間を開けて(宗教的な意味があるらしい)、夫婦の共同生活に移る。結婚式に出てから一緒に暮らし始めるまで、平均して2～3年は間を置くのだという。

こうした理由によって、初婚カップルの泊まる部屋も男女別々になっており、しかも彼らは日常的に教会の文化活動やボランティアなどで行動を共にしてきたことから、23～24歳の仲間たちが集まるこの不思議な空間は、それゆえに修学旅行っぽく感じられるようだ。

準備は前日の夕食を終えたころから始まる。女性たちは順番を待ってメイク・ヘアメイクをし、ウエディングドレスに着替える。国際的に見ても、これほどまでにド派手で視覚的にインパクトのあるセレモニーもそう多くはないのかもしれない。会場には、BBCやAP通信、ロイター、AFPなどの国際メディアが入って報じていた。まずアリーナに集められたカップルのうち、若くて比較的ルックスの良い人たちが前方の目立つ位置に座っている。いや、それが不自然と言う訳でもない。全体的なレベルは高い(失礼!)。「以前とは異なり、今では相手と会って本人同士で話し合い、本当に一緒にやっつけようか、本当にこの人が神の決めた人物なのかという目で見て結婚相手を決めている。その意味で、過去の祝福(結婚)は不安を乗り越えるイメージがあったが、今は感覚に差があるだろう。つまり、この人を思っきり愛してもいいと、純粋に嬉しい、喜びの気持ちが強いように思う」

2016年 VISION

幸せな家庭 健康な教会
国家と世界に貢献する統一運動

2016年 活動指針

- 1.理想家庭と心情共同体形成
- 2.神氏族メシヤ活動強化
- 3.二世圏活性化
- 4.社会貢献と救国救世基盤造成